

令和5年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 感性豊かで、創造力に富み、社会的使命を自覚し、社会を生きぬく力を持つ人間の育成。 郷土を愛し、山形の未来をひらく、健康で実践力のある工業人の育成。
--------	--

本年度の重点目標	1 明瞭で積極的な学校運営
	2 学習指導の充実
	3 生徒指導の充実
	4 進路指導の充実
	5 地域産業界と連携した工業教育の推進
	6 危機管理の徹底
	7 働き方改革への取り組み
	8 キャンパス制について
	9 新しい校舎の建築に向けて

達成度	A	達成
	B	概ね達成
	C	やや不十分
	D	不十分

目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> (1) 地域に根ざし、地域を愛し、地域に愛される学校 (2) 一人一人の個性を生かし、工業分野で活躍できる将来のプロフェッショナルを育てる学校 (3) 産業・社会の変化を捉えた教育活動を展開し、自己実現できる学校
目指す生徒像	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自分の可能性を信じ、自己実現に向かって努力する生徒 (2) 失敗を恐れぬ情熱と挑戦力に満ち溢れる生徒 (3) 心身ともに健康で、礼儀正しく、勤労意欲に富む生徒 (4) 豊かな感性と社会性、国際感覚を持つ生徒 (5) 郷土を愛し、地域に貢献する生徒
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教育公務員としての使命感を自覚し、プロ意識が高く、常に学び続ける教師 (2) 生徒、保護者等、地域社会から信頼される教師 (3) 生徒の能力と個性を生かし、社会で活躍できるプロフェッショナルを育てる教師

自己評価					学校関係者評価	
番号	評価項目	具体的方策（令和5年度）	主な数値目標	達成度	今年度の成果と課題 次年度に向けた課題と改善策など	意見・要望・評価等
1	学校運営	<ul style="list-style-type: none"> (1)「目指す学校像・生徒像・教師像」の実現に向けて、全職員・全生徒の共通理解の下、協働実践による明るく生き生きとした教育活動の実現を目指す。 (2)開かれた学校づくりを推進し、学校・家庭・地域の連携を深める。 (3)教職員一人ひとりが自己研鑽に励み、教員力の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回はHP更新し、本校の情報を広く発信する。 ・PTA関連の各種会議では、出席率60%以上を目指す。 ・避難訓練を年2回実施し、危機意識を高める。 ・教員の50%が校外の研修会に参加し、自己研鑽に励み、教員力向上に努める。 	B	<p>令和5年4月に開催した今年度のPTA総会の参加率は31.7%(昨年度28%)と昨年よりは参加率は上昇したがまだまだ少ない状況である。来年度はコロナ禍で中止していた授業参観等と抱き合わせて出席率を上げていきたい。HPの更新を各科目で月1回以上で行っていったが、もっと多くの情報を掲載し更新していきたい。授業研究週間では多くの先生が見学をし、研修・研究をおこなった。外部での研修会は昨年よりはリアルでの開催が増えたが、リモートでの研修会が多かった。昨年度より1人1台タブレットが生徒と教員に支給となり授業等で数多く使用されるようになった。</p>	<p>学校関係者評価委員の方々から、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 明瞭で積極的な学校運営 2 学習指導の充実 3 生徒指導の充実 4 進路指導の充実 5 地域産業界と連携した工業教育の推進 6 危機管理の徹底 <p>の6項目についてアンケートにお答えいただき、すべての項目で「達成」又は「概ね達成」の高評価をいただいた。また、以下のご意見やご要望をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクール・ミッションポリシー、スクール・ポリシー等は、下位に行くにしたがって具体的に記載すべきである。 ・進路指導について、就職後3年以内に離職しないように指導してほしい。 ・危機管理について、大地震時のマニュアルを見直してほしい。 <p>令和6年度より新校舎が供用開始となり、多くの方々から本校の更なる飛躍を期待されている。</p>
2	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> (1)効果的にICTを活用し生徒を惹きつける「わかる授業」を展開し、生徒に「授業が第一である」(授業中心主義)ことを理解させる。 (2)授業時数を確保し、知識の定着を図る。また、学習の習慣づけにより基礎学力の向上を図り、探究的な学習の機会を創出し主体的に学習する習慣を醸成する。 (3)生徒による「到達度自己評価と授業評価」を実施し、その結果を分析し授業改善に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間出席率99%以上 ・生徒の授業満足度3.1以上 ・入学定員充足率100% 	B	<p>年度途中より、新型コロナが5類となり風邪症状等での休みが欠席扱いになったことや長欠者が出たため98.3%と目標値を下回った。生徒の授業満足度はICTの利活用とともにわかりやすい授業の研究・実践に伴って、3.4(最大値4.0)と目標値を超え良好であった。昨年度の志願者延べ数91名(76%)に対し、今年度は86名(71%)と若干下回った。次年度以降も中学生とその保護者等に対する積極的なPR活動が必要である。</p>	
3	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒一人ひとりの規範意識と社会性を高め、家庭・地域及び関係機関との連携を密にして、いじめや問題行動、SNSでのトラブルの未然防止、早期発見、早期対応に努める。 (2) 生徒会常任委員の自主活動及び各種委員会活動の充実、また地域社会参加活動の充実を図る。部活動の加入促進と活動の活性化を促す。 (3)交通安全指導を通して自らの安全と健康管理に努め命の大切さについて学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動「0」・盗難「0」をめざす。 ・いじめ「0」を目指し、認知した場合は100%解決する。 ・各活動出席参加率100%を目指す。 ・部活動において、東北・全国大会出場を目指す。 ・交通重大事故発生件数「0」を目指す。 ・生徒一人ひとり年3回以上のボランティア活動参加を目指す。 	B	<p>問題行動に対する指導を行わなければならない事案(問題行動4件、盗難紛失3件)があった。いじめ認知に関しては、現在までに4件報告されている。認知した全てに対して担任・学年団や他の教職員が状況を聞き面談をし、支援を行った。生徒同士のより良い人間関係の構築やSNSを含めた言葉の使い方やコミュニケーション能力に関する指導と支援を引き続き行うとともに、家庭と連携した対応を進める。感染防止対策を講じながら、全校生徒で校外の除草・清掃活動やみこしの祭典、寒工祭りなど生徒会活動や部活動を行った。自転車による交通事故は3件発生したが、重大な事故に関しては「0」であった。日頃から事故防止に努める。</p>	
4	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> (1) 進路希望を高く持って、それを達成できる人材を育成する。 (2) キャリア教育総合実践プログラムに基づき、計画的、組織的、継続的なキャリア教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望進路達成100%を目指す。 ・民間就職と進学(1回目受験)での合格率は、それぞれ90%以上を目指す。 	B	<p>民間企業への就職は全員内定。進学未決定者が若干残っているが、希望進路についてはほぼ内定・合格した。民間就職第1希望での合格率は90.6%、進学第1希望の合格率は95.3%であった。ノウハウを継承、共有しながら、より効果的な指導を実践していきたい。</p>	
5	地域と連携した工業教育	<ul style="list-style-type: none"> (1)ものづくり教育の質を向上させると共に、新たな時代の要請に応え、地域の発展に貢献できる工業教育を推進する。 (2) 課題研究や外部との共同研究の充実を図り、主体的な課題解決力と表現力、創造力を備えた人材を育成する。 (3)資格取得等に挑戦させ、知識、技術を習得することで自信を持ち、生涯にわたって学び続ける実践力と活用能力を備えた人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種資格取得に意欲的に挑戦し、技能検定では受検者の合格率70%以上を目指す。 ・ジュニアマイスター取得率30%以上を目指す。 ・各種コンテストやロボット等の競技大会に参加し、上位入賞を目指す。 ・課題研究では生徒の多様性に対応し、各科複数のテーマ(4テーマ以上)を設定し、興味関心を追究することを目指す。課題研究発表会をとおして、各科の取り組みを保護者や企業、地域の方々に知ってもらう。 ・公開講座など地域に開かれた取り組みを各科1回以上実施し、専門分野の教育活動を広く地域にPRする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が資格取得に意欲的に挑戦している。技能検定においては受検者は前期は16名受検、10名合格、合格率63%、後期は89名が受検済である。 ・第7回やまがた高校生ロボットコンテストでは準優勝を果たしている。また、メカロアイデアコンテストやマイコンカーラリーに出場し、上位入賞はならなかったが、大会をとおしものづくり力を高められた。 ・課題研究発表会では、地域に貢献できる内容の充実した発表が多くあった。また、左沢高校とのキャンパス制行事である合同発表会を開催することができた。 ・フューチャープロジェクトが始動し『海ゴミロボの共同研究』(E/IT科)や地域との交流イベントを実施した。交流イベントに関しては年々増す傾向があり、新しい体制づくりや見直しが必要である。 	
6	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> (1)防災意識の徹底、不審者への対応及び学校情報管理の理解と徹底を図る。 (2)生徒及び教職員の心身の健康管理に努める。 (3)公金等各種会計処理を適正に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を年2回実施し、危機意識を高める。 ・救急対応に関する講習会として、2分野以上の企画をめざす。 ・心身の健康に関する講習会として、2分野以上の企画をめざす。 ・公金等執行状況報告に合わせ会計指導を実施する。 	B	<p>5月には、大規模地震後火災を想定し防災避難訓練を行い、10月には弾道ミサイルを想定した避難訓練を行った。救急対応においては、1.2学年を対象にAED講習会を消防署員の方を講師に招き行った。全校生徒を対象に思春期セミナーを行った。会計処理については適正に行った。</p>	
7	キャンパス制	<ul style="list-style-type: none"> (1) 相互連携・交流の意義を踏まえて、キャンパス制の取組み内容について研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の成果を相互で発表することで、両校の理解を深める。 ・生徒会など生徒同士の交流を年2回以上行い、交流を深める。 ・協働的で深い学びをテーマに、研修会と互いの授業参観を行い、教員の授業力向上を図る。 	B	<p>本校舎での最後の寒工祭。両校が訪問し、交流を深めることができた。さらに、合同学校説明会を行った。また、今年度は合同課題研究発表会を実施できた。両校の探究学習の特色を相互に理解し、学びの多様性を知るうえで貴重な体験となった。</p>	

自己評価及び学校関係者評価の改善点、他 第2回学校関係者評価委員会は、評価委員の方々のご都合を鑑みて、書面会議とさせていただきます。アンケートに回答いただいたところ、今年度の学校運営に関して高評価をいただいた。令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行により、学校行事をコロナ前の状況に戻しながら行い、成果をあげた。また、さがえ少年少女発明クラブの活動への協力や、フューチャープロジェクト(産業教育連携協議会)の立ち上げによって地域との連携がより深まったことは大変良かった。